

第 4 表 主要事務事業実施の状況及び事務事業評価結果

No.	事務事業名	決算額 (千円)	財源内訳 (千円)			事業内容及び成果
			国道 支出金	その他	一般 財源	
1	介護サービス事業一般管理業務	33,465		13,240	20,225	介護サービス事業の運営に必要となる職員給料等の支給を行った。
2	訪問看護事業	1,277	518	755	4	本人や家族の希望により在宅で療養される要支援・要介護者等に対して、主治医の指示に基づき病状や障害の観察や医療措置等の療養上の世話、清拭や身体の清潔保持を行い可能な限り居宅において自立した生活が出来るよう支援を行った。 (第9表訪問看護ステーション運営の概要、1利用状況の表のとおり。)
3	地域包括支援事業	18,196	148	12,897	5,151	1 地域包括支援センター職員の配置状況 (第11表地域包括支援センター運営の概要 1 職員配置状況の表のとおり。) 2 介護予防支援計画の作成状況 (第11表地域包括支援センター運営の概要 2 介護予防支援計画の作成状況の表のと おり。) 3 相談業務等の状況 (第11表地域包括支援センター運営の概要 5 相談業務等の状況の表のとおり。)
4	保健福祉施設管理運営等業務	4,081			4,081	質の良いサービスの向上を図り快適な環境を保持するため、適切な施設の維持管理を図った。 (消耗品購入、修繕、器具整備の実施状況) ①食器購入 408千円 ②LED取替修繕 1,177千円 ③エレベーター部品取替え修繕他5件 914千円 ④厨房用ドアタイプ食器洗浄機購入 1,265千円 ⑤厨房用ライスタンク購入他1件 265千円
5	介護サービス事業長期債償還元金	49,098			49,098	平成9年度及び平成10年度に建設した介護老人保健施設に係る地方債の償還元金を、償還条件に基づき適正に償還した。
6	介護サービス事業長期債償還利子	8,860			8,860	平成9年度及び平成10年度に建設した介護老人保健施設に係る地方債の償還利子を、償還条件に基づき適正に償還した。
合計		114,977	666	26,892	87,419	

事務事業評価							
1. 必要性	2. 成果	3. 要望	4. 行革の取組			今後の方向性	総合判定
			事務事業の休止・廃止など	コスト削減など	他事業との統合や民間委託		
高い	変わらない	無	無	無	無	最小限の経費で一般的な管理を行っていく。	継続
高い	変わらない	無	無	無	無	利用者が可能な限り在宅での自立した生活ができるように、訪問看護サービスの提供を継続していくとともに、さらなるサービス向上を目指して、市立病院と連携を図りながら訪問看護体制の充実について検討していく。	継続
高い	変わらない	無	無	無	無	利用者が可能な限り在宅での自立した生活ができるように、介護予防支援計画の作成業務等を継続するとともに、介護に関わる総合的な相談業務を継続していく。	継続
高い	向上した (修繕及び器具の購入等により快適な環境の保持に寄与した。)	無	無	無	無	日常的なメンテナンスを適切に行いながら、保健福祉施設の快適な環境の保持を図っていく。	継続
高い	変わらない	無	無	無	無	現状どおり適正に償還していく。	継続
高い	変わらない	無	無	無	無	現状どおり適正に償還していく。	継続

1. 必要性 (市が行わなければならない理由など)
 2. 成果 (市民福祉の向上は図られたのかなど)
 3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)
 4. 行財政改革の取組
 (1)事務事業の休止・廃止など
 (2)コスト削減など
 (3)他の事業との統合や民間委託等
 ※総合判定 (休止・廃止・終了・拡充・縮小・継続・改善)

- 高い・普通・低い
 向上した・変わらない・低下した
 有・無
 有・無
 有・無
 有・無